令和３年度戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の実施方針

令 和 ３ 年 ２ 月 25 日
ガバニングボード決定

「科学技術イノベーション創造推進費に関する基本方針」（平成 26 年５月 23 日　総合科学技術・イノベーション会議決定）に基づき、令和 3 年度に研究開発を実施する対象課題、プログラムディレクター、研究開発計画の基本的事項及び対象課題ごとの配分額を次のとおり定める。

また、年度途中に機動的に対応すべき事項が生じた場合等に対応するため 13.38 億円留保する。

配分額：259.21 億円

対象課題	プログラムディレクター	研究開発計画の基本的事項	配分額（億円）
スマート物流サービス	田中　従雅 ヤマトホールディングス(株) 常務執行役員	サプライチェーン全体の生産性を飛躍的に向上させ、世界に伍していくため、生産、流通、販売、消費までに取り扱われるデータを一気通貫で利活用し、最適化された生産・物流システムを構築するとともに、社会実装する。	12.32

※「科学技術イノベーション創造推進費に関する基本方針」（最終改訂平成 31 年２月 27 日総合科学技術・イノベーション会議決定）に基づき、上記配分額とは別に、SIP の実施にあたって必要となる PD に係る経費、ガバニングボード、推進委員会及び有識者による委員会の運営に係る経費、機動的な調査に係る経費等を事務局運営経費として、7.41 億円充当する。

（注）上記課題への配分額及び事務局運営経費は政府予算成立をもって確定し、それぞれ各管理法人等、内閣府に配分する。